

地盤工学会 関東支部 造成宅地の耐震対策に関する研究委員会（H23 年度活動）
第 1 回議事録（準備委員会含む第 5 回）

日時：平成 23 年 9 月 16 日（金）14：00～17：30

場所：JGS 会館地下会議室

出席者：安田委員長、太田先生、飯沢委員、小川（和）委員、小川（鉄）委員、小西委員、小林委員、澤田委員、新坂委員、末富委員、杉山委員、諏訪委員、高田委員、手塚委員、栃尾委員、西村委員、橋本（和）委員、橋本（隆）委員、松下委員、松本委員、吉田委員、大林

資料：

5-0 議事次第、議事録ほか資料

5-1 浦安市状況資料

5-2 対策工法資料

議事：

1. 委員長挨拶

- ・委員会の経緯等について説明（資料 5-0 pp.3-39）
- ・本委員会では提言に沿った対策工法の具体案を整理、浦安地区の一般の皆様からの相談の受け皿などについて検討したい。

2. 委員自己紹介（資料 5-0 p.2）

3. 浦安市の相談窓口について（資料 5-0 pp.40-43）

- ・第 5 次案を資料に添付したが、現在のところこの案で浦安市と取り決めを進めている。
- ・住民とのトラブルを避けるために JGS 顧問弁護士のアドバイスによって p.42 のような説明を住民に行い、署名をもらう。
- ・相談員候補についてはこれから交渉を開始するところである。
- ・浦安市とは取り決めについて文書を取り交わしてスタートすることになっており、現在は文案の作成段階である。

4. 浦安の液状化について（資料 5-1）

- ・約 900 本のボーリングデータを分析した。
- ・土層構成としては、概ね 8m 程度のところに N 値のやや高い層が存在している。
- ・地下水分布と被害に相関関係がみられるかもしれない。
- ・建物の傾斜パターンが整理できる。
- ・液状化によって地表面まで水があがってきた状態で余震をうけたときの挙動がどのようなものかなどは今後の検討課題である。

5. 対策工法について（資料 5-2）

- ・メディア懇談会で浦安で実施されている対策工法の紹介をした。
- ・CPG については、アパートの沈下修正を実施した。費用は約 1000 万円で、沈下修正として施工した。
- ・薬液注入（i-lift）については、表層 3m に注入し、建物修正をした。約 400 万円。傾斜修正をメインにした。
- ・JETCRETE 工法による液状化時の沈下抑止の試行的実施例がある。地盤が液状化状態となった場合の短期支持力を確保できるような設計。
- ・この種の工事における個人との契約をどのようにすべきかなどの課題がある。
- ・戸建ての場合には中規模地震動程度を想定すればよいのか、浦安委員会でも設定する地震動をどのようにするかなどを議論していく。
- ・提言にあるように、1 件あたり 200 万円程度の復旧工法が望まれている。今後の開発工法も含め

てメディア懇談会資料を肉付けしていく方向で作業を進めたい。

・まず、資料 5-0 pp.24-39 の内容について、委員各位で修正や追記をしていただき、バージョンアップを目指す。ワードファイルを送るので9月末までに意見を幹事まで返して欲しい。

6. 次回予定 **(開催場所と時間が変更になっております。ご注意ください)**

10月28日(金) 10:00～ 公益社団法人 深田地質研究所 会議室

〒113-0021 東京都文京区本駒込2丁目13番12号

TEL/03-3944-8010 FAX/03-3944-5404

都営三田線千石駅A1出口を出て、左に行く。

最初の角を左折、そのまま直進してください。徒歩5分程度です。

話題提供案：手塚委員、大林

以上



都営地下鉄三田線千石駅下車 A1出口より徒歩3分